

湯沢駅周辺複合施設整備基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果

No	いただいた意見の要旨	湯沢市の考え方
1	<p>湯沢駅前にバスの停留所があるが、場所が分かりにくく、冬場や雨の日は不便であることから、羽後交通株式会社湯沢営業所（バスセンター）の複合施設移転を検討していただきたい。</p>	<p>羽後交通株式会社は民間企業であるため、複合施設に移転する場合、費用負担は全て羽後交通株式会社が負担することになります。現時点では移転に関する要望などは届いていないため、移転の検討は行っていません。 また、バスの停留所が使いにくいといった指摘については、関係する機関に情報提供させていただきます。</p>
2	<p>歴史資料展示機能について、全国的に活躍された方の先覚者顕彰コーナーを設置し、一定の期間ごとに順次紹介してはどうか。</p>	<p>展示内容は今後具体化していく予定であるため、先覚者の顕彰等を含めて展示の在り方を検討したいと考えています。</p>
3	<p>歴史資料展示機能について、重要な文化財の展示等に対応した歴史資料館や博物館として整備するべきではないか。</p>	<p>博物館法に定めるような博物館等の整備は想定していませんが、市民が市の歴史を学べる場や市内に点在する既存の展示施設（サテライト拠点）をつなぐセンター拠点が必要と考えており、複合施設内に歴史資料展示機能を導入することとしています。</p>
4	<p>歴史資料展示機能の規模について、想定する専有面積370㎡（常設展示室300㎡及び収蔵室70㎡）では、市内の文化財等を展示する規模としては小さいのではないか。</p>	<p>専用の展示室は300㎡ですが、共用部分の展示コーナー200㎡を合わせると500㎡の規模を確保しています。 規模が大きくなるほど建設費や維持費も大きくなるため、必要な機能は確保しつつ、できるだけ将来世代の負担が増えないように規模を設定しています。</p>
5	<p>湯沢市外の利用者や観光客にも来館してもらえるように、湯沢をまるごと体感し、イメージアップを図れるような施設を期待している。</p>	<p>市民意見のほか、民間事業者の提案等を基に、公共機能の整備や民間機能の導入を行うことで、魅力的な複合施設やエリアを創造したいと考えています。</p>
6	<p>民間機能について、観光客向けの郷土料理店や土産店、若者向けのカフェを設置することで、多くの集客が見込まれるのではないか。 また、宿泊客が市外に流れていることからホテルの誘致のほか、「地熱のまち」をアピールするため発電事業者によるPR館の設置も検討していただきたい。</p>	<p>市民ニーズの高い民間機能について、現在、民間活力導入可能性調査を実施しており、民間機能の導入によるにぎわい創出を推進したいと考えています。</p>
7	<p>本事業を充実させるため、湯沢駅周辺の民有地を買収して、事業対象地を拡大してはどうか。</p>	<p>本事業は、湯沢駅周辺の市有地（約1ヘクタール）を活用して公共施設再編を進めることを基本としています。 現在、誘致できる民間事業者が決まっていないため、土地の過不足、配置計画は今後の検討課題となっていますが、事業対象地の拡大は想定していません。</p>